

市町村名		宮古島市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	ムイガー展望施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-(ア) 沖縄らしい風景づくり		
担当部課名	生活環境部	城辺支所	事業実施 年度	平成 29 ~ 平成 30 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)	
事業内容	宮古島南部の断崖を一望できる景勝地のムイガー断崖について、観光資源として活用するため、展望施設の整備工事を実施する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	合計	
	A. 予算現額	3,589	51,867			55,456	
	B. 執行済額	3,352	51,867			55,219	
	うち 交付金充当額	2,681	41,493			44,174	
	執行率(%) (B/A)	93.4%	100.0%			99.6%	
執行状況の説明	最終的な執行率は99.6%となり、事業計画どおりに執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	ムイガー展望施設整備	目標	・既設階段整備 ・手摺り整備 ・遊歩道整備	-	-	-	-
		実績	・既設階段整備 ・手摺り整備 ・遊歩道整備	-	-	-	-
		目標	・階段新設 ・トイレの撤去 ・休憩所の設置	-	-	-	-
		実績	・階段新設 ・トイレの撤去 ・休憩所の設置	-	-	-	-
		目標	・展望スペース設置 ・ロータリー整地	-	-	-	-
実績		・展望スペース設置 ・ロータリー整地	-	-	-	-	
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	ムイガー展望施設の整備完了	目標	完了	-	-	-	-
		実績	完了	-	-	-	-
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況					
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果			年度	年度	年度	年度	R1年度 目標/発現年度
	【R1成果目標】 観光客等を対象に、観光地として魅力的かどうか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業の成果を検証する。		目標	-	-	-	-	80.0%
			実績	-	-	-	-	97.7%
			目標					
		実績						
状況説明	【R1年度】 ・実績97.7%となり、目標を達成した。							
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)				【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R1年度】 ・本土からの観光客数も増加傾向にあり、また外国からのクルーズ船の中継地となっていることから、今後も当該施設の活用促進が期待できる。				【R1年度】 ・施設の更なる認知度向上や魅力の発信、アクセス方法の紹介に努める必要がある。				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)								
【R1年度】 ・観光部署が作成する観光雑誌、パンフレット等へ日本語・外国語で施設場所の標記を行い、観光客への魅力の発信と認知度向上を図る。								

市町村名	宮古島市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	多言語観光案内サイン整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(エ) 観光客の受入体制の整備		
担当部課名	観光商工部	観光商工課	事業実施 年度	平成 29	~ 平成 30	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	
事業内容	年々増加する外国人観光客への対応と国内観光客の事故防止の為、シュノーケリングスポットとなっており、多くの観光客が立ち寄る新城ビーチ及び吉野ビーチに多言語観光案内サインの整備を行い、観光客の利便性・安全性の確保を図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	合計	
	A. 予算現額	9,666	7,425			17,091	
	B. 執行済額	9,666	5,378			15,044	
	うち 交付金充当額	7,732	4,302			12,034	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	72.4%			88.0%	
執行状況の説明	H30年度は事業実施にあたり設置箇所を再検討した結果、当初予定していた観光案内サインの設置を取りやめ、安全確保サインの設置のみを実施した。その為、入札差金も含め2,047千円の不用が発生した。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	安全確保サイン設置	目標	3基	2基	-	-	-
		実績	3基	2基	-	-	-
	通り池サイン設置	目標	2基	-	-	-	-
		実績	2基	-	-	-	-
牧山公園サイン設置	目標	-	2基	-	-	-	
	実績	-	0基	-	-	-	
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	安全確保サイン設置	目標	3基	2基	-	-	-
		実績	3基	2基	-	-	-
	通り池サイン設置	目標	2基	-	-	-	-
		実績	2基	-	-	-	-
牧山公園サイン設置	目標	-	2基	-	-	-	
	実績	-	0基	-	-	-	

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R1年度 目標/発現年度	
事業完了後の成果目標	【R1成果目標】 クルーズ船客アンケートによる多言語案内表記の満足度(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	目標	—	—	—	—	80.0%
		実績	—	—	—	—	67.3%
		目標					
		実績					

状況説明	【R1年度】 クルーズ船客アンケートによる多言語案内表記の満足度は67.3%となり、目標を下回った。
------	---

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
--	---------------------------------------

【R1年度】 ・市内ビーチ等の観光地には概ね多言語案内サインは設置できているが、商業施設や飲食店等の多言語案内表記が少ない状況にある。	【R1年度】 ・観光地だけでなく、観光施設や商業施設等の多言語案内を増やしていく必要がある。
--	---

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【R1年度】 ・宮古島市の観光について官民連携して協議する「宮古島市観光推進協議会」等の場で多言語案内表記を増やす取組について議論を進め、観光施設や商業施設等の多言語案内表記を増やし、外国人観光客の利便性を向上させ、観光産業振興につなげていく。

市町村名		宮古島市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	下地島空港観光アクセス調査事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ 観光客の受入体制の整備			
担当部課名	企画政策部	企画調整課	事業実施 年度	平成 30	~ 平成 30	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所		
事業内容	国際線等旅客ターミナルの供用開始により、新たに多くの観光客利用が見込まれる下地島空港の利便性向上を図るため、同空港と市内要所を結ぶ交通アクセスの確保に向けた調査・検討を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	合計		
	A. 予算現額	8,219				8,219		
	B. 執行済額	7,765				7,765		
	うち 交付金充当額	6,212				6,212		
	執行率(%) (B/A)	94.5%				94.5%		
執行状況の説明	公募型プロポーザルでの発注により受託者提案額にて契約したことによる減額(△335千円)と、概算契約の精算に伴う減額(△119千円)のため、予算現額と執行済額に差額が生じた。最終的な執行率は94.5%となり、概ね計画的に執行できた。							
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況					
				H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	下地島空港観光アクセス調査の実施		目標	調査の実施	-	-	-	-
			実績	調査の実施	-	-	-	-
			目標					
			実績					
		目標						
		実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況					
				H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	下地島観光アクセス調査の完了		目標	調査の完了	-	-	-	-
			実績	調査の完了	-	-	-	-
			目標					
			実績					
		目標						
		実績						

事業完了後の取り組み

成果目標(指標)		達成/進捗状況					
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R1年度 目標/発現年度	
事業完了後の成果目標	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果						
	【R1成果目標】 下地島空港と市内要所間のアクセスが可能となる2次交通を1ルート以上確立する。	目標	—	—	—	—	1ルート以上
		実績	—	—	—	—	2ルート
		目標					
	実績						
状況説明	【R1年度】 ・1ルート以上の2次交通確保に対し、2ルートが確保されており目標を上回っている。						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R1年度】 ・バス路線1ルートがあれば空港アクセスの確保はされるが、2ルートが確保されたことで、より空港利用の利便性が高まった。			【R1年度】 ・運行を継続するだけでなく、利用に関する情報の発信等により、さらなる利用促進を検討する必要がある。				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)							
【R1年度】 ・下地島空港へのアクセス手段として順調に利用されているが、利用者のさらなる満足度向上に向け、バス事業者等と協議・調整を図っていく。							

市町村名		宮古島市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	水難救助体制強化整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ 観光客の受入体制の整備		
担当部課名	消防本部	総務課	事業実施 年度	平成 29	~ 平成 30	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	
事業内容	入域観光客の増加に伴い発生が懸念される水難事故等へ対応するため、水難救助体制を強化する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		H29年度	30年度	R1年度	R2年度	合計	
	A. 予算現額	4,566	70,740			75,306	
	B. 執行済額	4,428	70,740			75,168	
	うち 交付金充当額	3,542	56,592			60,134	
	執行率(%) (B/A)	97.0%	100.0%			99.8%	
執行状況の説明	29年度: 事業計画通りに備品購入費を執行できた。不用額138千円については、入札残によるものである。 30年度: 計画通り水難救助車1台及び災害支援車1台購入事業を執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	水難救助資機材10件の導入	目標	資機材10件の導入	-	-	-	-
		実績	資機材10件の導入	-	-	-	-
	水難救助車1台の購入	目標	-	1台購入	-	-	-
		実績	-	1台購入	-	-	-
災害支援車1台の購入	目標	-	1台購入	-	-	-	
	実績	-	1台購入	-	-	-	
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	水難救助資機材10件の導入完了	目標	水難救助資機材10件の導入完了	-	-	-	-
		実績	水難救助資機材10件の導入完了	-	-	-	-
	水難救助車1台の配備完了	目標	-	水難救助車1台の配備完了	-	-	-
		実績	-	水難救助車1台の配備完了	-	-	-
災害支援車1台の配備完了	目標	-	災害支援車1台の配備完了	-	-	-	
	実績	-	災害支援車1台の配備完了	-	-	-	

事業完了後の取り組み						
事業完了後の成果目標	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R1年度 目標/発現年度
	【R1成果目標】 本水難救助車と災害支援車を活用した水難救助訓練の実施(33回/年)による、水難救助車等の活用方法の検証	目標	訓練(33回/年)	—	—	—
実績		36回	—	—	—	36回
状況説明	目標					
	実績					
	【R1年度】 ・水難救助資機材・水難救助車・災害支援車を活用した訓練を年間36回実施したことにより、水難救助体制の強化が図られた。					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)			
【R1年度】 ・資機材、水難救助車及び災害支援車を配備完了し運用が開始された。これにより隊員の安全管理及び迅速、且つ効率的な救助活動が可能となり宮古島市の水難救助体制の強化が図られた。			【R1年度】 ・隊員の資機材に関する熟練度を高める必要と車両の効果的な運用を検討する必要がある。			
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)						
【R1年度】 ・より迅速かつ効果的な水難救助体制を確立するために、資機材取扱い訓練及び実災害想定訓練を継続して実施し隊員の熟練度を高めるとともに関係機関との合同訓練を定期的実施して、災害現場活動時における連携強化を図る。						

市町村名	宮古島市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	地域連携小中学校吹奏楽環境整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-5-(1)-ア 地域を大切にし、誇りに思 健全な青少年の育成		
担当部課名	教育部	学校教育課	事業実施 年度	平成 30	~ 平成 30	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	
事業内容	市内小中学校の吹奏部において、必要な楽器を整備し、児童生徒の意欲向上及び地域活性化を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中 の予算額 ・執行額 【単位:千円】		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	合計	
	A. 予算現額	25,088				25,088	
	B. 執行済額	25,088				25,088	
	うち 交付金充当額	20,070				20,070	
	執行率(%) (B/A)	100.0%				100.0%	
執行状況の説明	計画どおり事業執行し完了している。						
事業期間中 の活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	吹奏楽器の整備(小学校4校 中学校2校)	目標	小学校4校 中学校2校	-	-	-	-
		実績	小学校4校 中学校2校	-	-	-	-
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						
事業期間中 の成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	楽器整備完了	目標	完了	-	-	-	-
		実績	完了	-	-	-	-
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み						
成果目標(指標)	達成/進捗状況					
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R1年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標 楽器の整備により部員の音楽に対する意欲が向上したか(80%以上)を含め、部活動のあり方についてアンケート調査により検証する。 楽器購入後に参加した複数のイベントへの総来場者数6,000人。	目標	—	—	—	—	80.0%
	実績	—	—	—	—	92.8%
	目標	—	—	—	—	6,000人
	実績	—	—	—	—	7,300人
状況説明	【H30年度】 ・不足していた楽器の購入が完了し、吹奏楽の環境整備が行われた。 【R1年度】 ・楽器の整備後、教師と生徒を対象としたアンケートを実施したところ、「練習機会が増えたか」、「練習に集中できたか」、「新たな曲を演奏したくなったか」、「コンサート、コンクール、地域のイベントに積極的に参加しているか」のすべての項目において、「そう思う」との回答の平均が92.8%となり、目標の80%を大きく上回った。実績としても、県の吹奏楽コンクールにおいて本市の中学校2校が金賞を受賞し、1999年以來の離島からの県代表校として九州大会へ派遣された。 ・従来のイベントに加え、沖縄県初となる大規模な吹奏楽イベントへの開催があり島外からの来場者もあったため、総来場者数が目標としていた6,000人を大幅に超える7,300人となった。					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)			
【R1年度】 ・成果目標を二つとも達成することができ、事業効果の発現を確認することができた。			【R1年度】 ・今回の事業効果が一過性の物とならず、継続して上げられるように、地域イベント等への継続的な参加と、楽器の適切な管理を行う必要がある。			
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)						
【R1年度】 ・地域イベント等への参加を定例化し、楽器の適切な管理を実施することにより、現在の児童生徒だけでなく後輩への良好な活動環境を提供し、音楽活動を通じた青少年の健全育成と地域活性化のサイクルの確立に取り組んでいく。						

市町村名	宮古島市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	「テレワーク@宮古島」事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第5章-3-(4)-ウ 圏域の特色を生かした産業の振興		
担当部署名	企画政策部	情報政策課	事業実施 年度	平成 28	~ 平成 30	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-9
事業内容	<p>離島における情報通信関連産業の振興並びに地場産業の新たな展開に向け、情報通信関連企業のサテライトオフィス誘致に向けた検討委員会の開催、企業訪問及び誘致活動を行う。 また、誘致事業者のサテライトオフィスとして利用するため既存施設の機能強化を行う。 情報通信関連企業の誘致により新規就業者を創出するため、宮古島市への開設意欲のある企業への訪問による誘致活動、現地ツアー開催による島内企業とのビジネスマッチング等を実施する。</p>						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	合計	
	A. 予算現額	9,308	20,335	7,943		37,586	
	B. 執行済額	6,525	18,067	7,223		31,815	
	うち 交付金充当額	5,220	14,453	5,778		25,451	
	執行率(%) (B/A)	70.1%	88.8%	90.9%		84.6%	
執行状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・航空券割安購入や、入札による委託費削減などで、各年度とも執行予算を削減できた。 ・最終的な執行率は84.6%となり、概ね計画的に執行できた。 						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	企業訪問	目標	—	実施	実施	—	—
		実績	—	実施	実施	—	—
	ビジネスマッチング交流会の開催	目標	—	—	2回	—	—
		実績	—	—	2回	—	—
	協議会の開催	目標	—	—	1回	—	—
		実績	—	—	2回	—	—
	サテライトオフィス化実施設計業務の実施	目標	—	実施	—	—	—
		実績	—	実施	—	—	—
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	ビジネスマッチング件数 2社以上	目標	—	—	2件	—	—
		実績	—	—	1件	—	—
	サテライトオフィス化実施設計業務の完了	目標	—	完了	—	—	—
実績		—	完了	—	—	—	

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R1年度 目標/発現年度
	新規就業者4人以上		目標	-	-	-	4人
			実績	-	-	-	1人
			目標				
		実績					
状況説明		【R1年度】 ・サテライトオフィス開設に伴う新規就業者は1名であり、目標を下回っている。					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R1年度】 ・新規就業者数が下回っていることについて、サテライトオフィスの入居企業による宮古島市における新規事業が現状として開始されていないことから新規就業者数の増加に繋がっていないと思われる。			【R1年度】 ・サテライトオフィス入居企業における今後の宮古島での新規雇用へ繋がるとような事業展開を支援・協力していく必要がある。				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
【R1年度】 ・サテライトオフィスを含む情報産業振興施設の運営を行うにあたって、サテライトオフィス入居企業と、今後の事業展開へ繋げていける調整や支援をしていける関係性を構築し連携を図る。							